

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
ベルタウン吉祥院店

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2008年

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.1
Q1 室内環境			0.40			2.8
1 音環境		3.0	0.15		-	3.0
1.1 騒音		3.0	0.70		-	
1 1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-	
2 2 設備騒音対策		3.0	-	3.0	-	
1.2 遮音		3.0	-		-	
1 1 開口部遮音性能		3.0	-	3.0	-	
2 2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	-	
3 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.30	3.0	-	
2 温熱環境		2.0	0.35		-	2.0
2.1 室温制御		3.0	0.50		-	
1 1 室温設定		3.0	0.50	3.0	-	
2 2 室温変動・過熱抑制性		3.0	-	3.0	-	
3 3 外皮性能		3.0	0.17	3.0	-	
4 4 ゾーン別制御性		3.0	0.33	3.0	-	
5 5 室温・湿度制御		3.0	-	3.0	-	
6 6 個別制御		3.0	-	3.0	-	
7 7 時間外延滞に対する配慮		3.0	-	3.0	-	
8 8 設備・システム		3.0	-	3.0	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	-	
3 光・視環境		3.0	0.25		-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50		-	
1 1 昼光率		3.0	-	3.0	-	
2 2 方位別開口		3.0	-	3.0	-	
3 3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	-	
3.2 グレア対策		3.0	-		-	
1 1 眩光軽減対策		3.0	-	3.0	-	
2 2 昼光制御		3.0	-	3.0	-	
3.3 照度		3.0	-		-	
1 1 照度		3.0	-	3.0	-	
2 2 照度均等性		3.0	-	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.50	3.0	-	
4 空気質環境		3.7	0.25		-	3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-	
1 1 化学汚染物質	建築材料にF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している	4.0	1.00	3.0	-	
2 2 化学汚染物質		3.0	-	3.0	-	
3 3 化学汚染物質		3.0	-	3.0	-	
4 4 化学汚染物質		3.0	-	3.0	-	
4.2 換気		3.0	0.30		-	
1 1 換気量		3.0	0.50	3.0	-	
2 2 自然換気性能		3.0	-	3.0	-	
3 3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	-	
4 4 給気設備		3.0	-	3.0	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20		-	
1 1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	3.0	-	
2 2 喫煙の制御	喫煙室以外は全館禁煙	5.0	0.50	3.0	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.5
1 機能性		3.7	0.40		-	3.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-	
1 1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
3 3 バリアフリー計画		3.0	1.00	3.0	-	
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30		-	
1 1 広さ感・景観	売場の天井高3.8m	4.0	0.33	3.0	-	
2 2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	3.0	-	
3 3 内装計画		3.0	0.33	3.0	-	
1.3 維持管理		5.0	0.30		-	
1 1 維持管理に配慮した設計	評価する取り組みを9項目行っている	5.0	0.50	3.0	-	
2 2 維持管理用機能の確保	評価する取り組みを13項目行っている	5.0	0.50	3.0	-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31		-	3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48		-	
1 1 耐震性		3.0	0.80	3.0	-	
2 2 免震・制振性能		3.0	0.20	3.0	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.33		-	
1 1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	3.0	-	
2 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	3.0	-	
3 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	3.0	-	
4 4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	3.0	-	
5 5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主な配管材料として、VP、VLP、SGPを使用	5.0	0.15	3.0	-	
6 6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	3.0	-	

2.3 設備の更新性								
2.4 信頼性				3.0	-		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.19			-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			-	
3	電気設備		3.0	0.20			-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20			-	
3 対応性・更新性				3.9	0.29		-	3.9
3.1 空間のゆとり				4.2	0.31		-	
1	階高のゆとり	階高5.25m	5.0	0.60			-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40			-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性				4.4	0.38		-	
1	空調配管の更新性	天井内スペースの確保	4.0	0.17			-	
2	給排水管の更新性	天井内スペースの確保	4.0	0.17			-	
3	電気配線の更新性	天井内スペースの確保	5.0	0.11			-	
4	通信配線の更新性	天井内スペースの確保	5.0	0.11			-	
5	設備機器の更新性	設備機器更新スペースの確保	5.0	0.22			-	
6	バックアップスペース	設備バックアップスペースの確保	4.0	0.22			-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			京都市市街地景観整備条例の届出により京都らしい外観を形成	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				4.0	0.30		-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	建物内外を連関させる中間領域の形成	4.0	0.50			-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	敷地内の風を導く配置計画	4.0	0.50			-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.6
1 建物の熱負荷抑制			PAL値:-15%	4.0	0.30		-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20		-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			-	
3 設備システムの高効率化			ERR=14.5	4.0	0.30		-	4.0
4 効率的運用				3.0	0.20		-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50			-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.9
1 水資源保護				3.4	0.15		-	3.4
1.1	節水	節水コマに加えて、省水型便器の使用	4.0	0.40			-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60			-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33			-	
2 非再生性資源の使用量削減				4.1	0.63		-	4.1
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07			-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	電炉H形鋼	4.0	0.20			-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	リサイクル資材を3種類以上採用	5.0	0.20			-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	持続可能な森林から算出された木材を10%以上使用している	4.0	0.05			-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が容易に分別できる等の取組みを行っている	5.0	0.24			-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.8	0.22		-	3.8
3.1	有害物質を含まない材料の使用	化学物質排出把握監視促進法の対象物質を含有しない建材が19	5.0	0.32			-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68			-	
1	消火剤	ハロン消火剤を一切使用しない	4.0	0.33			-	
2	断熱材		3.0	0.33			-	
3	冷媒		3.0	0.33			-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物(参照値)と比べて86%	4.1	0.33		-	4.1
2 地域環境への配慮				3.1	0.33		-	3.1
2.1	大気汚染防止	燃焼機器を使用していない(オール電化)	5.0	0.25			-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50			-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.7	0.25			-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			-	
3	交通負荷抑制	評価する取組み表の評価ポイント合計値が6ポイント	5.0	0.25			-	
4	廃棄物処理負荷抑制	評価する取組み表の評価ポイント合計値が4ポイント	4.0	0.25			-	
3 周辺環境への配慮				2.5	0.33		-	2.5
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.50			-	
2	振動		3.0	0.50			-	
3	悪臭		-	-			-	
3.2 風害、日照障害の抑制				1.6	0.40		-	
1	風害の抑制		1.0	0.70			-	
2	日照障害の抑制		3.0	0.30			-	
3.3 光害の抑制				3.7	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	周辺への漏れ光の少ない照明器具の使用等	4.0	0.70			-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			-	